

# 事業所アンケート調査結果報告書

## 目 次

1 調査の概要	
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査方法・実施期間 .....	1
(3) 調査の対象・配布数 .....	1
2 事業所の状況について	
(1) サービスの提供状況について .....	2
(2) サービスの受け入れについて .....	4
3 各分野についてのご意見	
(1) 必要とされている障害福祉サービスについて .....	7
(2) 経営上の課題について .....	11
(3) 防災対策について .....	15
(4) 地域移行や生活支援継続について .....	16
(5) 各サービスについて .....	20
(6) 石狩市の障がい者施策全般について .....	22

令和2年 11 月

石狩市

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

---

このアンケート調査は、石狩市の障害福祉サービス等について見込数と実績値の点検、評価を行うとともに、今後の見込量や地域住民との相互理解等の実態を把握し、計画策定のための基礎資料として活用していくことを目的に実施しました。

## (2) 調査方法・実施期間

---

- 配布方法 … 郵送
- 回収方法 … 郵送、メール
- 実施期間 … 令和2年8月20日～9月10日

## (3) 調査の対象・配布数

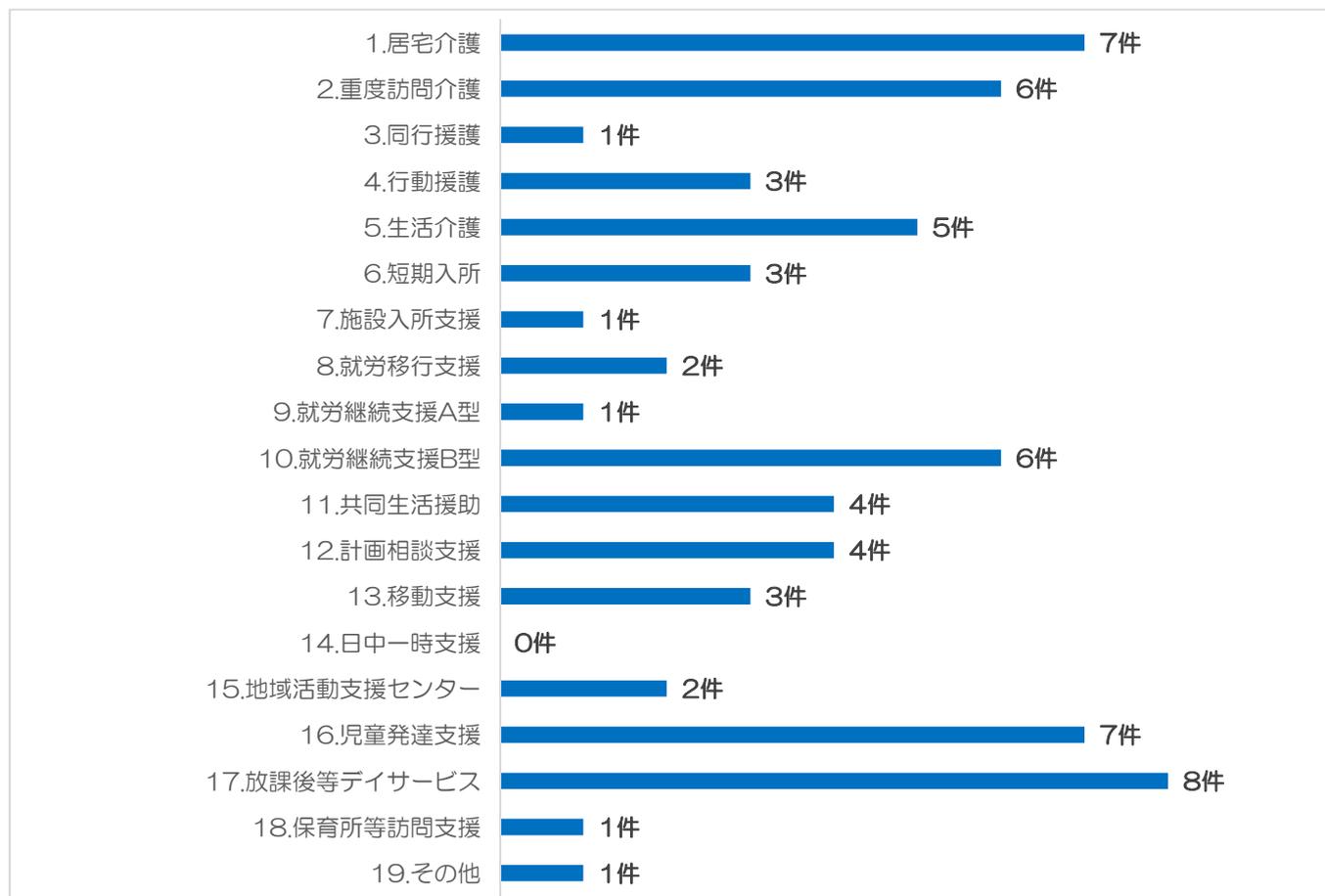
---

調査対象者	石狩市内の障害福祉サービス等提供事業者
配布数	55件
回収数	31件
回収率	56.4%

## 2 事業所の状況について

### (1) 各事業所のサービスの提供状況について

●現在提供している障がい福祉サービスについてお答えください(複数回答)



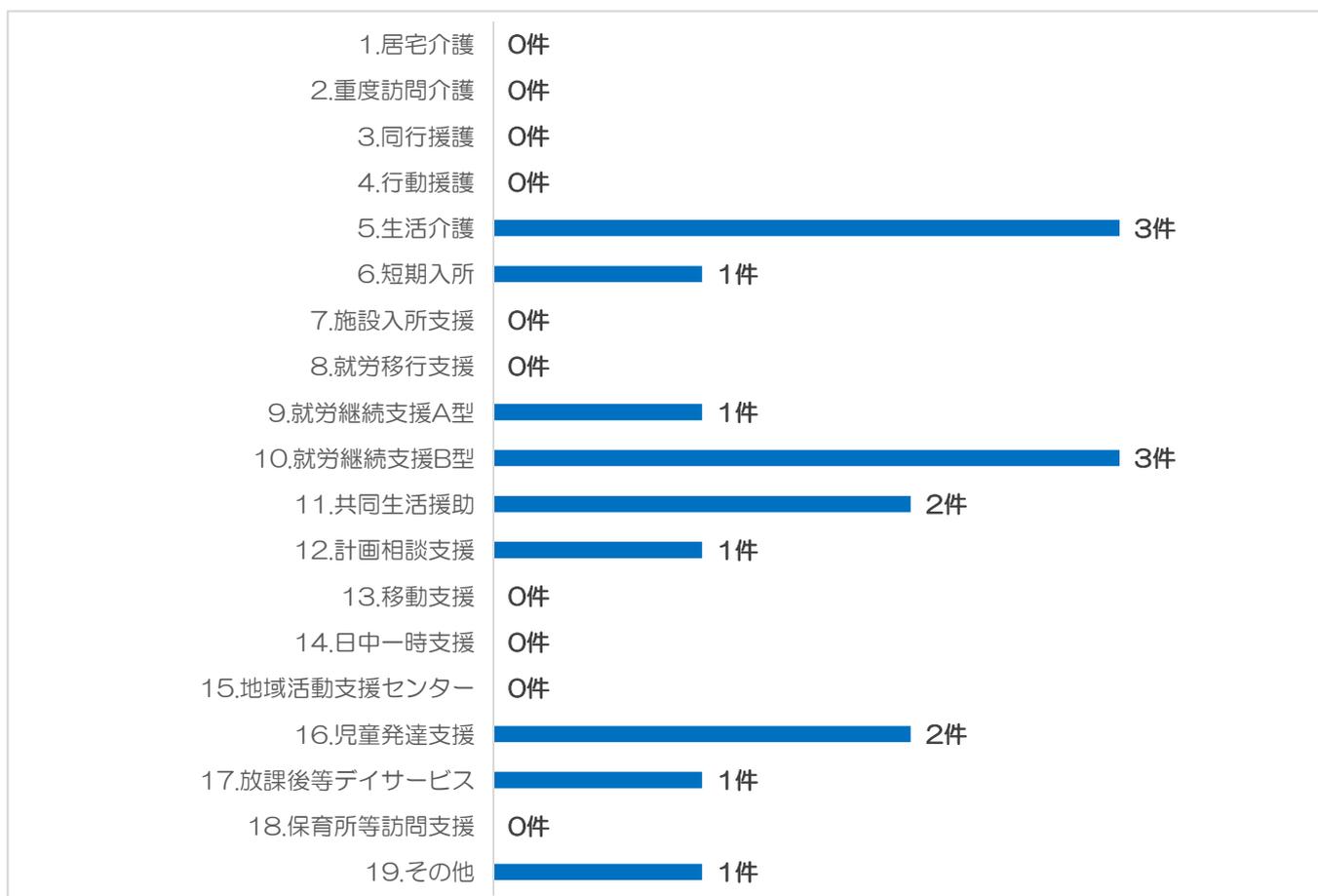
#### 【上記集計結果より】

○今回回答いただいた事業所に限られますが、市内で提供している障がい福祉サービスは18サービスとの回答がありました。また、「日中一時支援」の回答はありませんでした。

○最も多く回答があったサービスは「**17.放課後等デイサービス**」でした。

○「その他」自由筆記より、「委託相談支援」と「地域相談支援」のサービスを提供していると回答された事業所もありました。(※1事業所より回答。)

●今後のサービスの提供意向について、時期や規模は未定だが、将来的に参入を検討していきたいと考えている福祉サービスはありますか？(複数回答)



【上記集計結果より】

○市内事業所において将来検討している障がい福祉サービスは、上記8サービスとの回答があり、最も多く回答があったサービスは「5.生活介護」と「10.就労継続支援 B 型」でした。

○「その他」自由筆記より、「自立支援(生活訓練)」と「自立生活援助」を将来提供したいという事業所もありました。(※1事業所より回答)

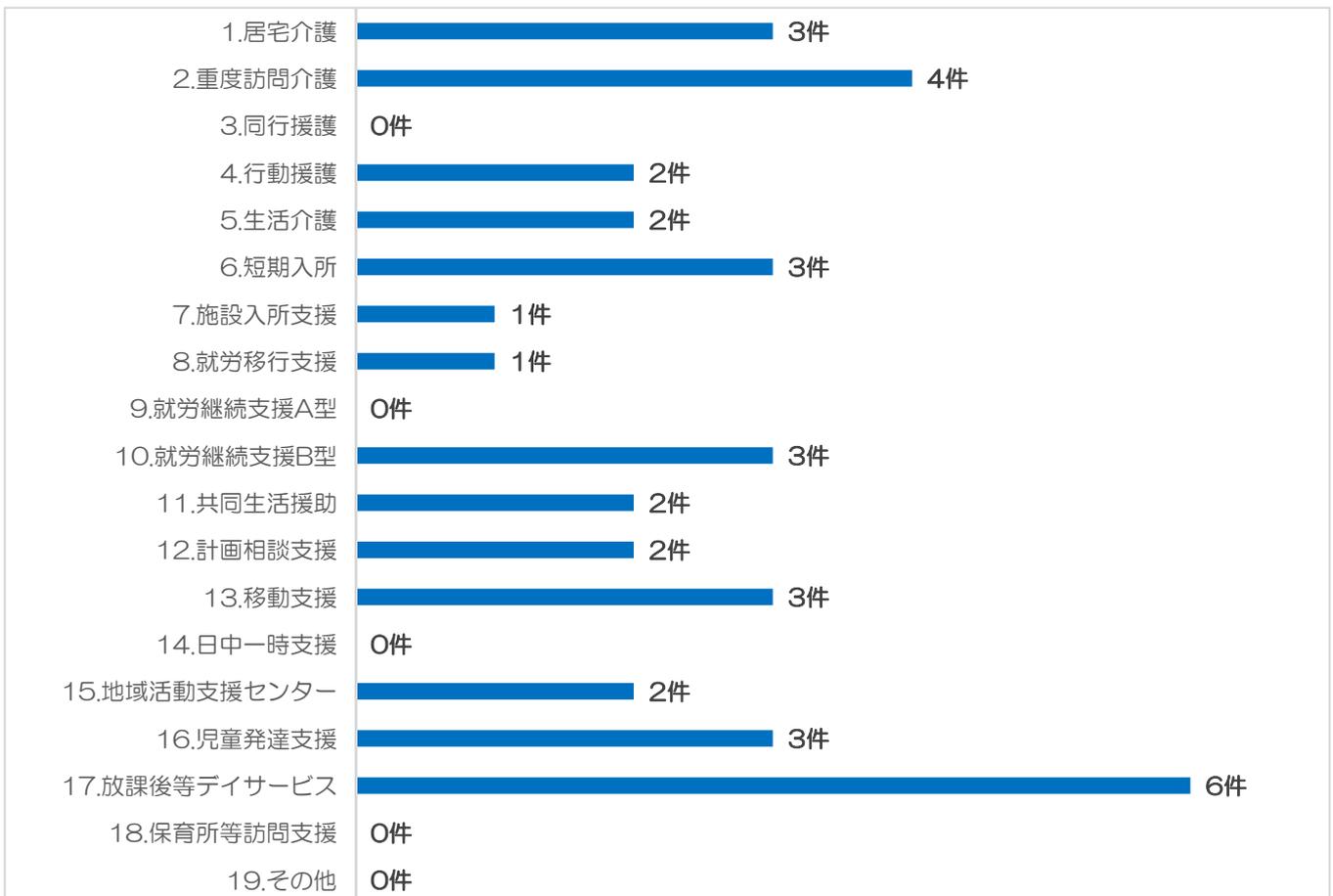
## (2) サービスの受入れ(サービス提供の現状)について

●利用者からの依頼に対して、受け入れ(サービス提供)ができなかったことがありますか？

【ある】23事業所(74%)    【ない】8事業所(26%)    ※少数第一位を四捨五入



●受け入れ(サービス提供)できなかったサービスは何ですか？



【上記集計結果より】

○受け入れ(サービス提供)できなかったサービスは、14サービスとの回答があり、最も回答が多かったサービスは「17.放課後等デイサービス」でした。

●受け入れ(サービス提供)できなかった理由は何ですか？

○理由を下記の選択肢より2つ選んでいただきました。

選 択 肢 【受け入れできなかった理由】
①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた
②希望される時間帯に、事業者としてのサービス提供していなかった(夜間・休祝日など)
③事業所では対応できない困難なケースだった(障がい種別、障がい程度などによる)
④新規契約者を受け入れる余裕がなかった(職員体制など)
⑤その他(自由記載)

○上記についてまとめたものが、以下の表となります。

受入れサービスできなかったサービス	理 由 ※[ ]内は、理由として選択された数
1.居宅介護	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[2] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[1]
2.重度訪問介護	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[3] ③事業所では対応できない困難なケースだった。(障がい種別、障がい程度などによる)[1] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[2]
4.行動援護	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[1] ②希望される時間帯に、事業者としてのサービス提供していなかった。(夜間・休祝日など)[1] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[1]
5.生活介護	③事業所では対応できない困難なケースだった。(障がい種別、障がい程度などによる)[2] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[1]
6.短期入所	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[1] ③事業所では対応できない困難なケースだった。(障がい種別、障がい程度などによる)[2] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[1] ⑤その他⇒ 感染症対策のため[1]
7.施設入所支援	⑤その他⇒ 満床のため[1]
8.就労移行支援	⑤その他⇒ 希望時間に送迎することができなかったため[1]
10.就労継続支援 B 型	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[1] ③事業所では対応できない困難なケースだった。(障がい種別、障がい程度などによる)[1] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[1] ⑤その他⇒ 建物の広さ的に限界があったことから既存の利用者との相性もあり受入れが困難であったため[1]
11.共同生活援助	③事業所では対応できない困難なケースだった。(障がい種別、障がい程度などによる)[2] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[1]

12.計画相談支援	④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[2] ⑤その他⇒ 委託相談が主な業務のため、受けられる人数が限られているため[1]
13.移動支援	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[2] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[2] ⑤その他⇒ 利用依頼が当日で、時間が決まらなかったため[1]
15.地域活動支援センター	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[1] ③事業所では対応できない困難なケースだった。(障がい種別、障がい程度などによる)[1] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[1]
16.児童発達支援	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[3] ②希望される時間帯に、事業者としてのサービス提供していなかった。(夜間・休祝日など)[1] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[2]
17.放課後等デイサービス	①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。[5] ②希望される時間帯に、事業者としてのサービス提供していなかった。(夜間・休祝日など)[1] ③事業所では対応できない困難なケースだった。(障がい種別、障がい程度などによる)[2] ④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)[2] ⑤その他⇒ 希望時間に送迎することができなかったため[1]

○受け入れ(サービス提供)できなかった理由として、全体を通じ最も多く選択されたものは

◆「①希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた。」の19件

次に多かったのは

◆「④新規契約者を受け入れる余裕がなかった。(職員体制など)」の17件

でした。

また、そのほかについては

・「②希望される時間帯に、事業者としてのサービス提供していなかった」 3件

・「③事業所では対応できない困難なケースだった」 11件

・「⑤その他」 7件

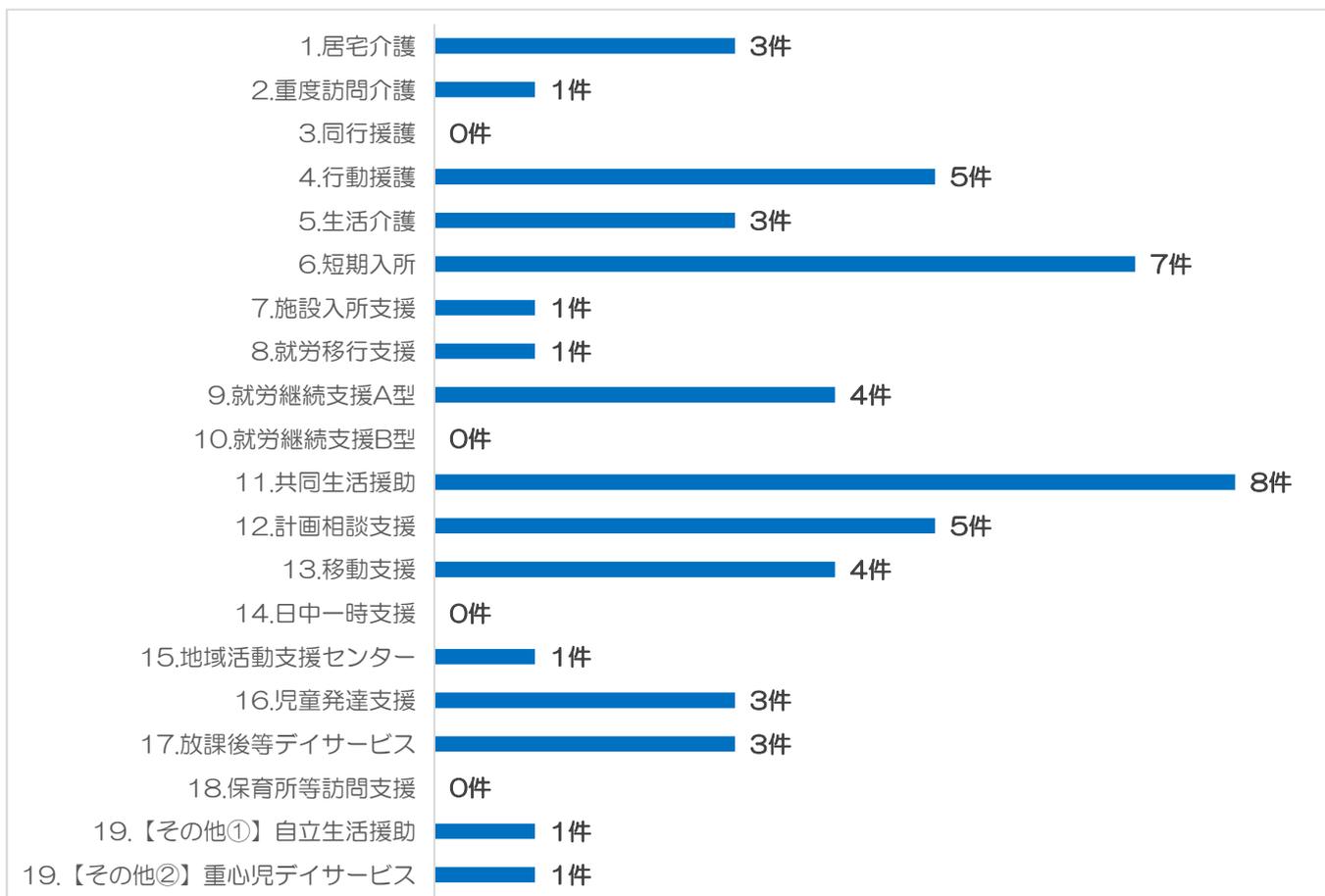
でした。

○上記の結果、ニーズはあるが施設の規模などにより受け入れが困難であったことや、職員等人員不足により受け入れることができなかったことが多かったようです。

### 3 各分野についてのご意見

#### (1) 必要とされている障害福祉サービスについて

●利用者から望む声が多いけれど、不足していると感じられるサービスは何ですか？



#### 【上記集計結果より】

○市内事業所において不足と感じている障がい福祉サービスは、16サービスありました。

○最も多く回答があったサービスは「11.共同生活援助」、次に多かったのは「6. 短期入所」でした。

○「その他」自由筆記より、「自立生活援助」や「重心児デイサービス」が不足していると回答された事業所もありました。(※2事業所より回答。)

●不足していると感じているサービスにおいて、定員増や新規参入が進まない理由は何だと思えますか？

○理由を下記の選択肢から2つ選んでいただきました。

選 択 肢【定員増や新規参入が進まない理由】
①利用需要の見込が立てづらい
②利用者の継続的な確保が困難
③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)
④職員の確保が困難
⑤報酬単価が低く採算性に不安がある
⑥わからない
⑦その他(自由記載)

○上記についてまとめたものが、以下の表となります。

不足していると感じて選択されたサービス	理 由 ※[ ]内は、理由として選択された数
1.居宅介護	④職員の確保が困難[2] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[1] ⑦その他⇒ ニーズは高いが施設等資源不足。札幌市内の事業所も含めて探すが送迎の問題など課題は多い[1]
2.重度訪問介護	④職員の確保が困難[1]
4.行動援護	②利用者の継続的な確保が困難[1] ④職員の確保が困難[5] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[1] ⑦その他⇒ 提供者の資格要件・事務作業量の多さ、希望日にヘルパーの調整が難しい、ニーズと職員のシフト調整が合わない[3]
5.生活介護	②利用者の継続的な確保が困難[1] ③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)[2] ④職員の確保が困難[2] ⑦その他⇒ 重度障がい者が利用するため流動性がなく、一度契約すると利用継続するためすぐに定員になってしまう。また、需要はあるが定員増員するには障がい福祉サービス従事者を増やしたいが確保するのが難しい[1]
6.短期入所	③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)[2] ④職員の確保が困難[6] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[3] ⑦その他⇒ 希望日にヘルパーの調整が難しい、ニーズと職員のシフト調整が合わない[2]

7.施設入所支援	③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)[1] ④職員の確保が困難[1]
8.就労移行支援	⑦その他⇒ ニーズは高いが施設等資源不足。札幌市内の事業所も含めて探す送迎の問題など課題は多い[1]
9.就労継続支援 A 型	④職員の確保が困難[1] ⑦その他⇒・報酬体系に問題がある。・ニーズは高いが施設等資源不足。札幌市内の事業所も含めて探す送迎の問題など課題は多い。・昨今、高等支援学校希望者が増え、卒後に就労継続支援 A 型を利用したいと考えている方が増えている。しかし適切な支援ができる高いスキルのジョブコーチ・社員育成が遅れている。[3]
11.共同生活援助	③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)[3] ④職員の確保が困難[7] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[2] ⑦その他⇒・ニーズは高いが施設等資源不足。札幌市内の事業所も含めて探す送迎の問題など課題は多い。・高齢障がい者向けGHが石狩市にない。[2]
12.計画相談支援	①利用需要の見込が立てづらい[1] ④職員の確保が困難[4] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[3] ⑦その他⇒ 適切な障害福祉サービス利用計画を立てることや調整を図ることが利用者にとって大切であるが、スキルを持った相談員の育成が進まず相談員の確保ができない[1]
13.移動支援	④職員の確保が困難[4] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[2] ⑦その他⇒ ニーズと職員のシフト調整が合わない。[1]
14.日中一時支援	①利用需要の見込が立てづらい[1] ④職員の確保が困難[1] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[1]
15.地域活動支援センター	④職員の確保が困難[1] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[1]
16.児童発達支援	①利用需要の見込が立てづらい[1] ②利用者の継続的な確保が困難[2] ③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)[1] ④職員の確保が困難[2] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[1]
17.放課後等デイサービス	②利用者の継続的な確保が困難[1] ③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)[1] ④職員の確保が困難[2] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[2]
19.【その他①】自立生活援助	①利用需要の見込が立てづらい[1] ④職員の確保が困難[1] ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある[1] ⑦その他⇒ 細かいサービスが必要になるので、手間がかかる割に報われないのかもしれない[1]

○定員増や新規参入が進まない理由として、全体を通じ最も多く選択されたものは

◆「④職員の確保が困難」の41件

次に多かったのは

◆「⑤報酬単価が低く採算性に不安がある」の19件

でした。

また、そのほかについては、

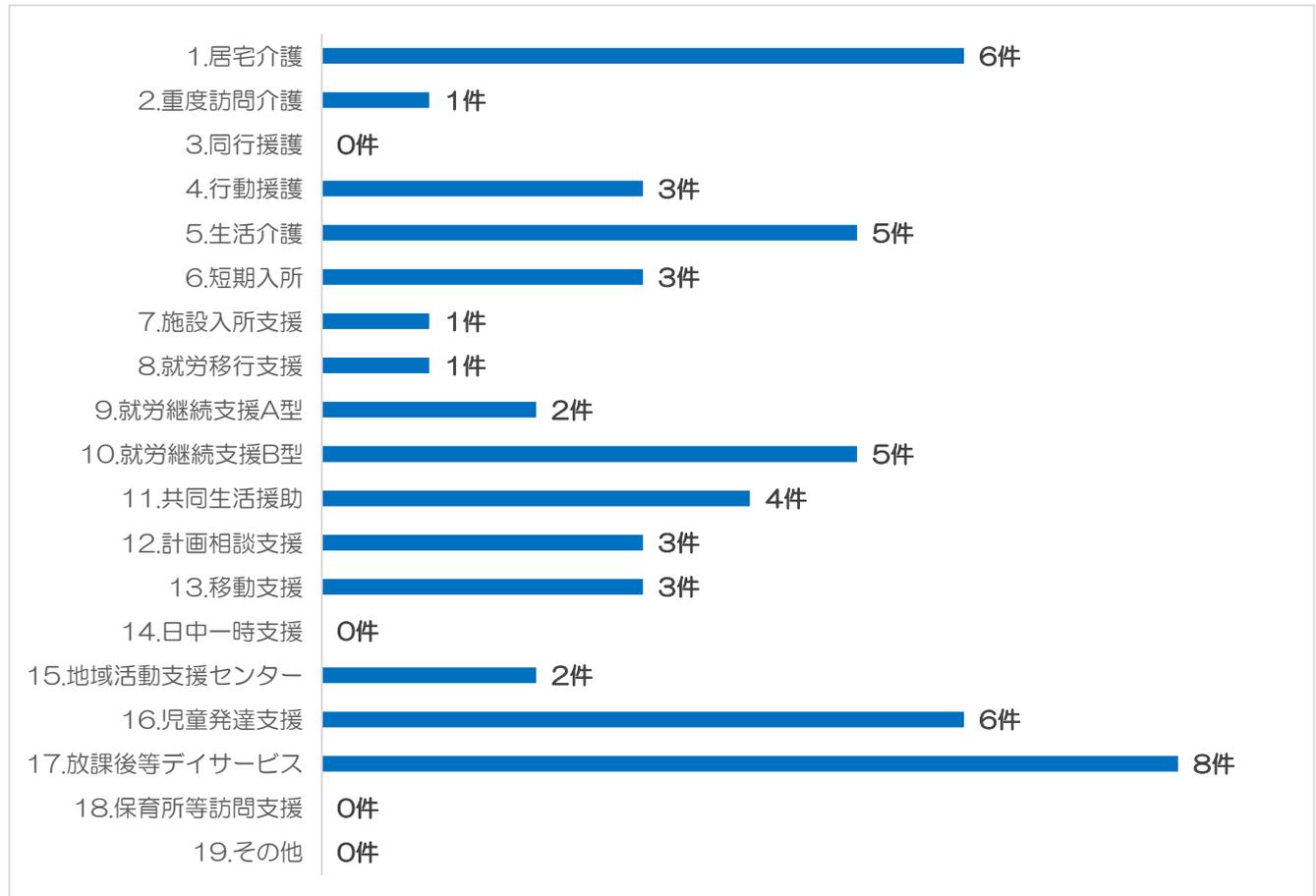
- ・「①利用需要の見込が立てづらい」 4件
- ・「②利用者の継続的な確保が困難」 5件
- ・「③サービス提供場所(土地や建物の確保が困難)」 10件
- ・「⑥わからない」 なし
- ・「⑦その他」 16件

でした。

○上記の結果、「職員の確保が困難」という回答が定員増員や新規参入が進まない理由として最も多く選ばれました。また次に多かったのは「報酬単価が低く採算性に不安がある」という回答であり、運営等に不安を感じている事業所も少なくないようです。

## (2) 経営上の課題について

●円滑な事業運営を進める上で改善したい(してもらいたい)サービスは何ですか？



【上記集計結果より】

○市内事業所において改善したい(してもらいたい)障がい福祉サービスとして、15サービスの回答がありました。

○最も多く回答があったサービスは 17.放課後等デイサービスでした。

●改善したい(してもらいたい)サービスにおける経営上の課題は何ですか？

○経営上の課題を下記の選択肢から3つ選んでいただきました。

選 択 肢【経営上の課題は？】
①特に経営上の課題は感じない
②事業(経営)計画通りに見通しをもって運営できている
③利用者の確保
④職員の確保
⑤職員の資質向上
⑥施設・設備の改善
⑦事務作業量の軽減化、効率化
⑧必要な情報の入手
⑨市等との連携
⑩利用者や家族の制度に対する理解
⑪市民、近隣住民の理解
⑫報酬単価
⑬その他

○上記をまとめたものが、以下の表となります。

改善したい(してもらいたい)サービス	理 由 ※[ ]内は、理由として選択された数
1.居宅介護	④職員の確保[4] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[2] ⑨市等との連携[1] ⑫報酬単価[2]
2.重度訪問介護	④職員の確保[1]
4.行動援護	③利用者の確保[1] ④職員の確保[3] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[2] ⑫報酬単価[3]
5.生活介護	①特に経営上の課題は感じない[1] ④職員の確保[3] ⑤職員の資質向上[2] ⑥施設・設備の改善[1]
6.短期入所	④職員の確保[1] ⑤職員の資質向上[1] ⑫報酬単価[2]

	⑬その他⇒ 緊急時の相談や連泊に対しシフトを組むことがむずかしい。[1]
7.施設入所支援	⑤職員の資質向上[1]
8.就労移行支援	③利用者の確保[1] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[1] ⑧必要な情報の入手[1]
9.就労継続支援 A 型	④職員の確保[1] ⑤職員の資質向上[1] ⑫報酬単価[1]
10.就労継続支援 B 型	③利用者の確保[1] ④職員の確保[1] ⑤職員の資質向上[2] ⑥施設・設備の改善[3] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[3] ⑨市等との連携[1] ⑩利用者や家族の制度に対する理解[1]
11.共同生活援助	④職員の確保[3] ⑤職員の資質向上[2] ⑥施設・設備の改善[2] ⑧必要な情報の入手[1] ⑩利用者や家族の制度に対する理解[1] ⑫報酬単価[2]
12.計画相談支援	④職員の確保[2] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[2] ⑫報酬単価[2]
13.移動支援	③利用者の確保[1] ④職員の確保[3] ⑫報酬単価[2]
15.地域活動支援センター	④職員の確保[1] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[1] ⑫報酬単価[2]
16.児童発達支援	③利用者の確保[1] ④職員の確保[4] ⑤職員の資質向上[2] ⑥施設・設備の改善[3] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[4] ⑧必要な情報の入手[1] ⑩利用者や家族の制度に対する理解[1] ⑫報酬単価[1]
17.放課後等デイサービス	③利用者の確保[3] ④職員の確保[5]

	⑤職員の資質向上[2] ⑥施設・設備の改善[3] ⑦事務作業量の軽減化、効率化[4] ⑧必要な情報の入手[1] ⑩利用者や家族の制度に対する理解[1] ⑫報酬単価[4]
--	---

○経営上の課題として、全体を通じ最も多く選択されたものは

◆「④職員の確保」の32件

次に多かったのは

◆「⑫報酬単価」の21件

でした。

また、そのほかについては、

- ・「①特に経営上の課題は感じない」 1件
- ・「②事業(経営)計画通りに見通しをもって運営できている」 なし
- ・「③利用者の確保」 8件
- ・「⑤職員の資質向上」 13件
- ・「⑥施設・設備の改善」 12件
- ・「⑦事務作業量の軽減化、効率化」 19件
- ・「⑧必要な情報の入手」 4件
- ・「⑨市等との連携」 2件
- ・「⑩利用者や家族の制度に対する理解」 4件
- ・「⑪市民、近隣住民の理解」 なし
- ・「⑬その他」 1件

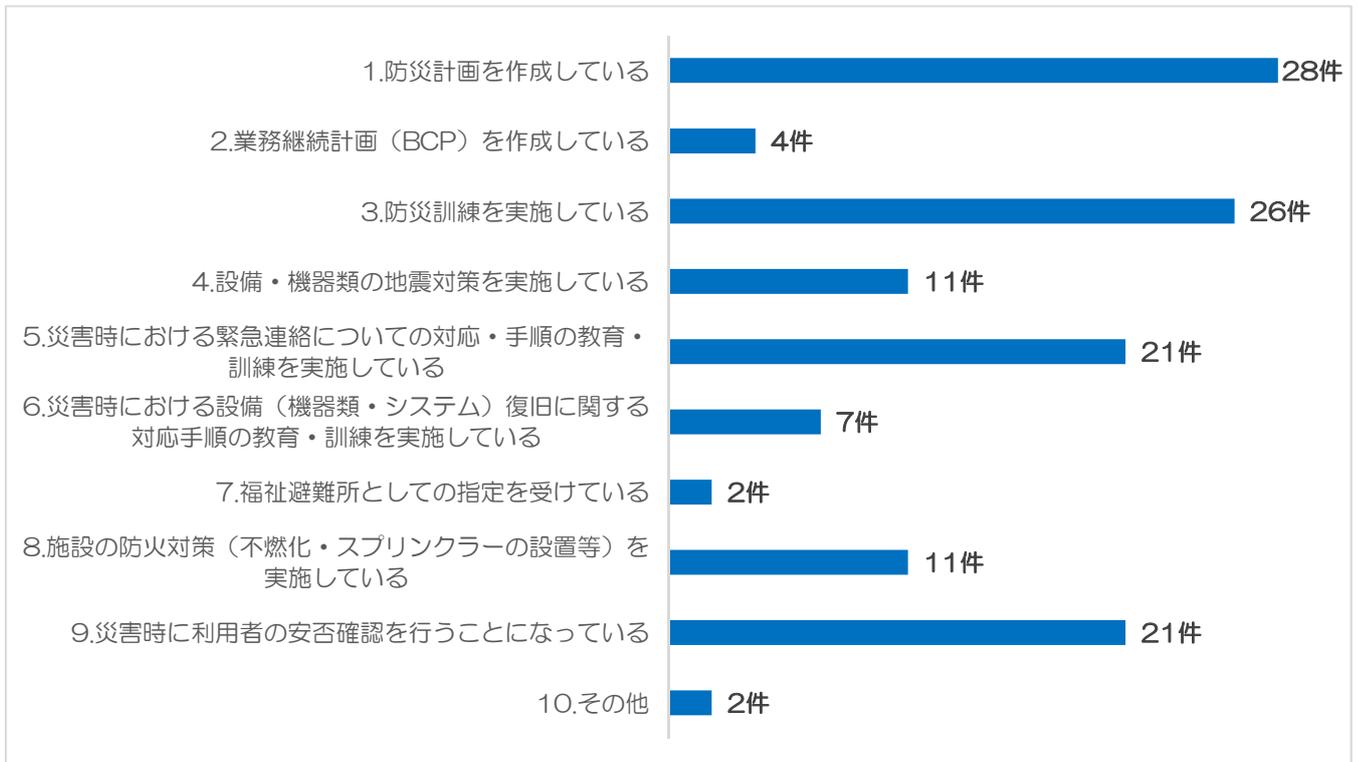
でした。

○上記の結果、「職員の確保」と「報酬単価」が課題となっており、前設問の理由(定員増や新規参入が進まない理由)と結果が重なるかたちとなっています。

### (3) 防災対策について

●災害時の備えとして、事業所で取り組んでいることはありますか？(複数回答可)

※今回調査協力をいただいた31事業所中



#### 【その他の回答】

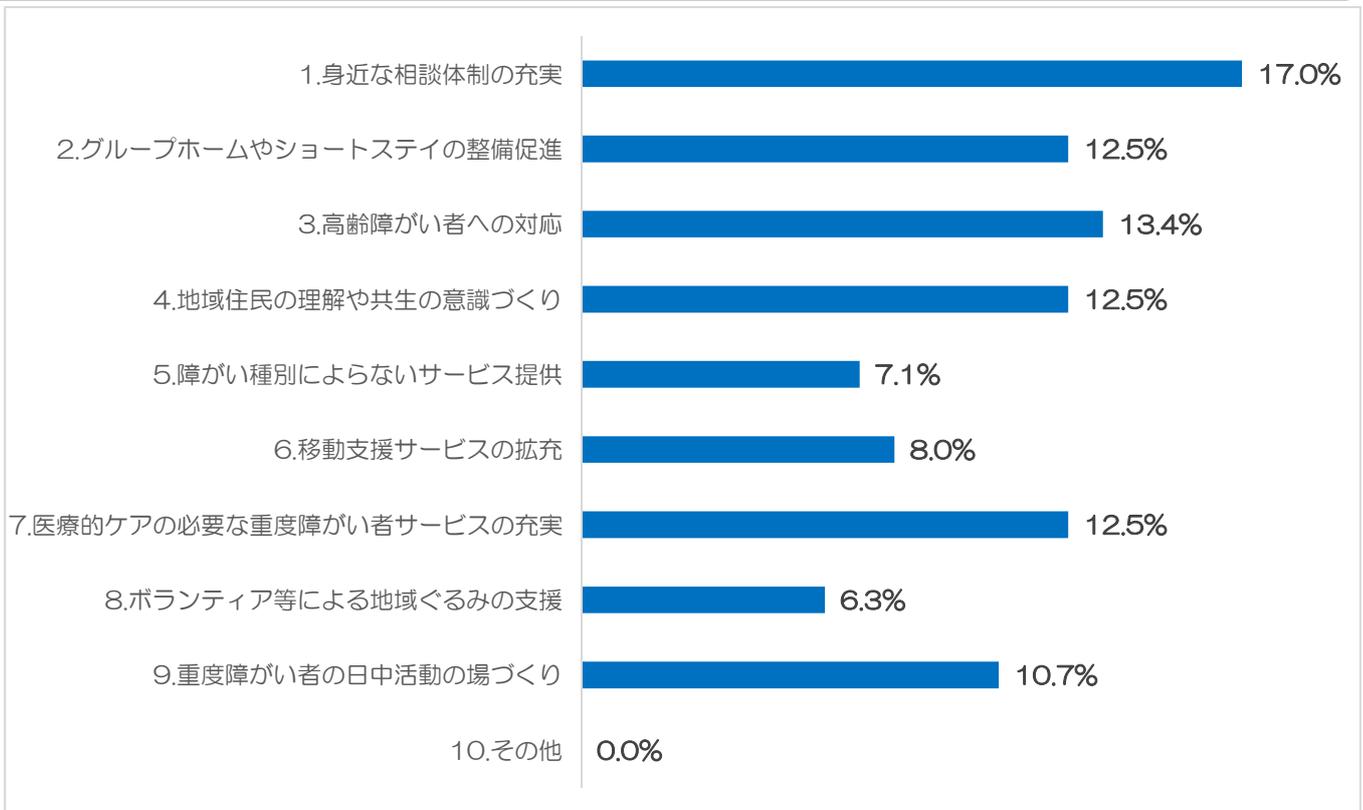
- 法人内では石狩花川エリアの拠点としての機能が求められている。
- 法人として有事の時の体制を作っている。

#### 【上記のグラフより】

- 「防災計画を作成していない」「防災訓練を実施していない」事業所もあるようです。

## (4) 地域移行や生活支援継続について

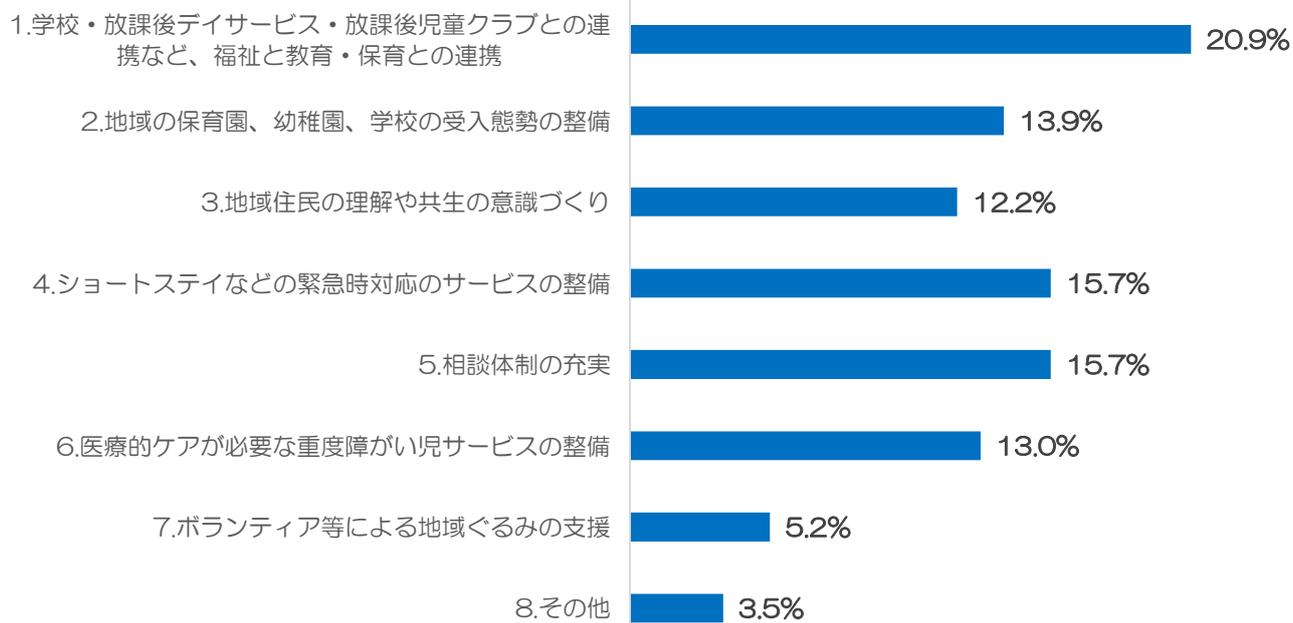
●地域移行や生活支援継続のために必要な取り組みは何だと思えますか？(複数回答可)



### 【回答数が多かった上位3つ】

- ◆1位 ⇒「1. 身近な相談体制の充実」
- ◆2位 ⇒「3. 高齢障がい者への対応」
- ◆3位 ⇒「2.グループホームやショートステイの整備促進」  
「4.地域住民の理解や共生の意識づくり」  
「7. 医療的ケアの必要な重度障がいサービスの充実」

●障がいのある子どもが地域で育ち、学びあっていくために必要な取り組みは何だと思えますか？(複数回答可)



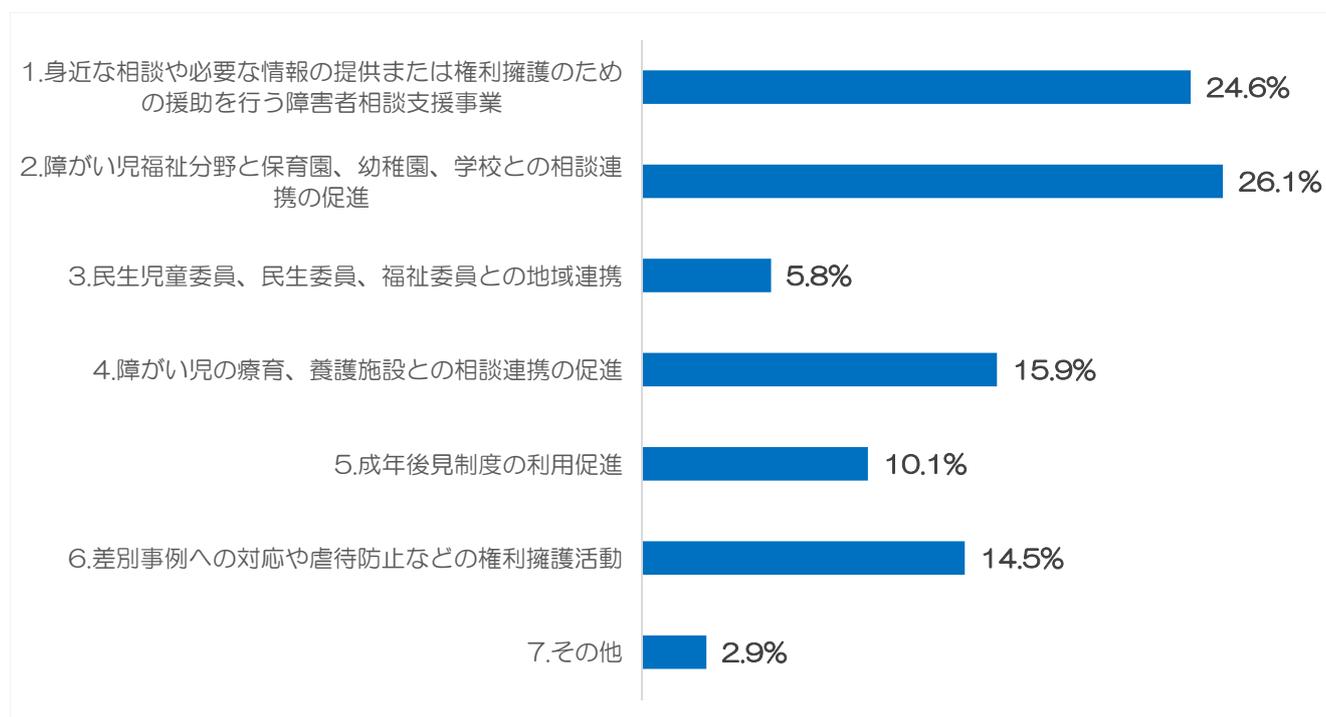
【回答数が多かった上位3つ】

- ◆1位 ⇒「1.学校・放課後デイサービス・放課後児童クラブとの連携など、福祉と教育・保育との連携」
- ◆2位 ⇒「4.ショートステイなどの緊急時対応のサービスの整備」  
「5.相談体制の充実」
- ◆3位 ⇒「2.地域の保育園、幼稚園、学校の受入態勢の整備」

【その他の回答】

- 学校・放課後等デイサービス・放課後児童クラブとの連携を子どもたちが望んでいるのか、子供の真理を重視すべき。
- 保育園、学校など障がいへの理解が不可欠。
- ハンデキャップがある全ての子供が、障がいの特性に応じた専門性の高い教育を受けることのできる環境・施設づくりが大事。また、子供のころから共に育っていくことができる環境づくりも大事。
- 地域住民、特に子を持つ親に対する障がいへの理解。

●障がい者の相談支援を進めるために必要な取組についてお答えください？(3つまで回答)



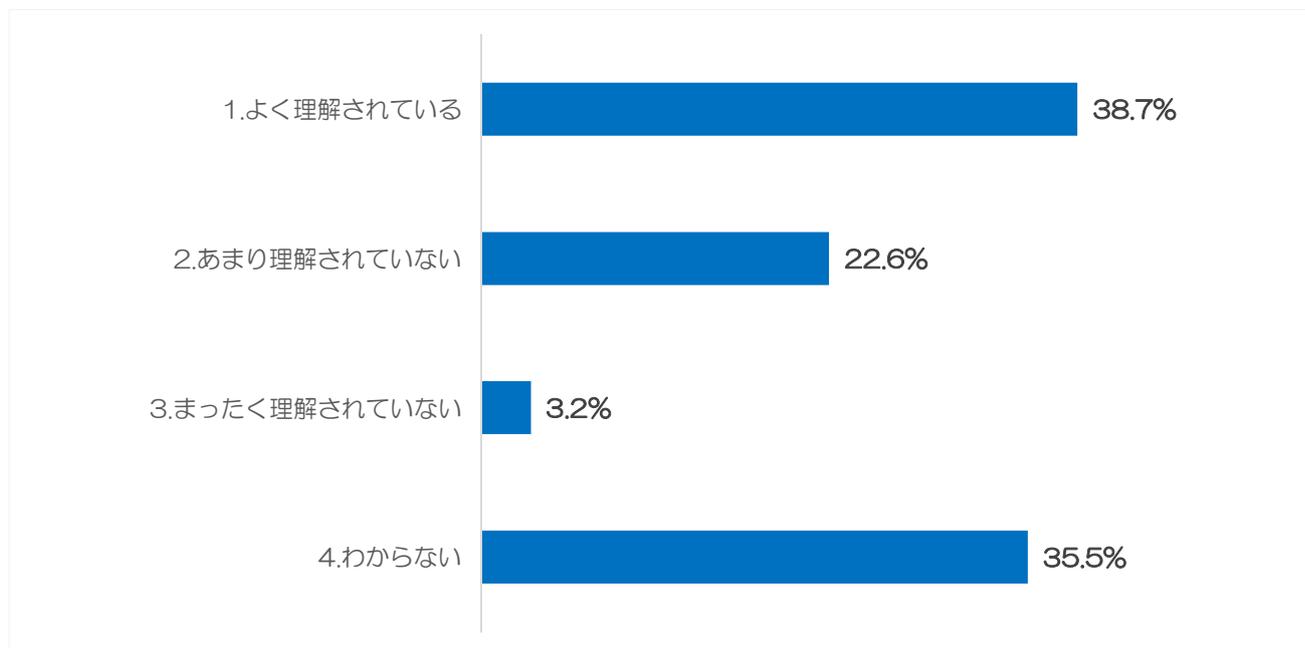
【回答数が多かった上位3つ】

- ◆1位 ⇒「2.障がい児福祉分野と保育園、幼稚園、学校との相談連携の促進」
- ◆2位 ⇒「1.身近な相談や必要な情報の提供または権利擁護のための援助を行う障害者相談支援事業」
- ◆3位 ⇒「4.障がい児の療育、養護施設との相談連携の促進」

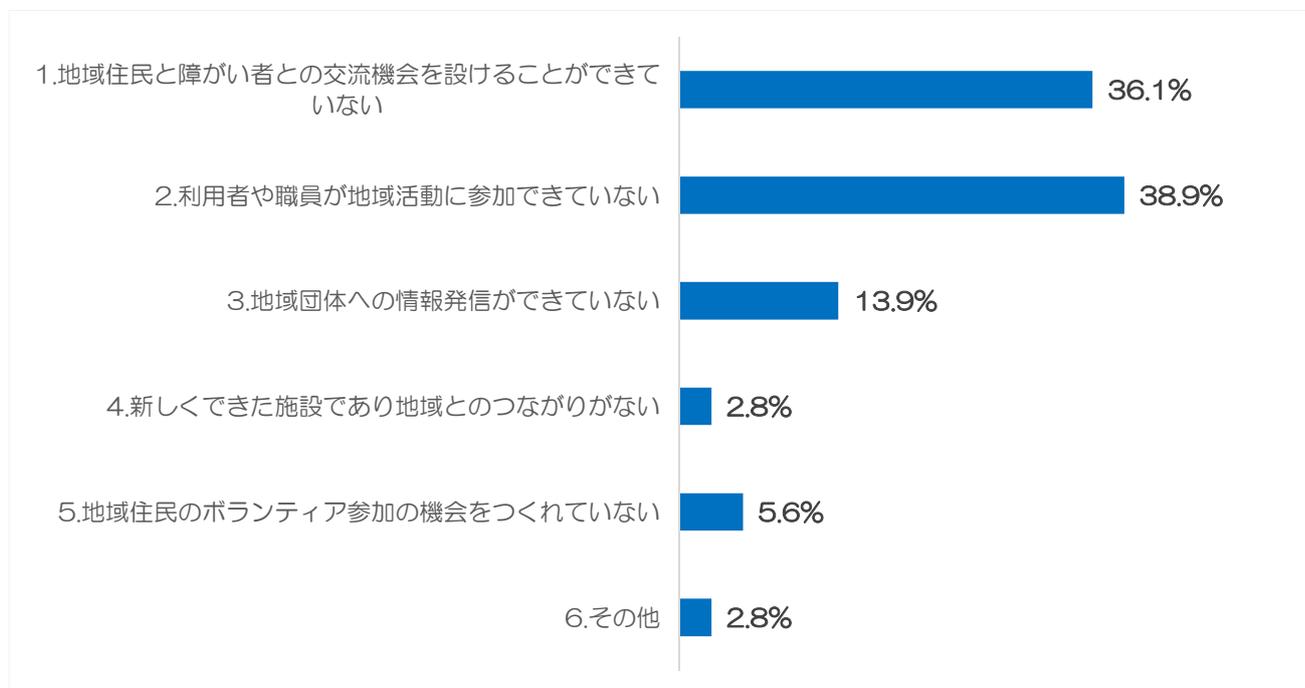
【その他の回答】

- 福祉の人間は専門用語を使いすぎ。利用者が理解していない。
- 相談員の増員配置。経験のある相談員が配置できるだけの事業費確保。

●事業所の活動や障害のある人に対する地域住民の理解はありますか？



●地域住民の理解が得られない理由は何だと思われますか？(複数回答可)



【その他の回答】

- わからない

## (5) 各サービスについてお聞かせください

●これらの分野における現状や問題点、課題等についてご意見をご記入ください。  
(自由筆記)

- 職員が不足している。人材育成等のための助成金を整備してほしい。
- 職員賃金の安定化が重要。
- 北海道の許可により同業の事業所が近くにあっても開設することができることに疑問。互いに競い合う形となるが、競争原理を福祉分野に持ち込むことはいかがなものか。サービスの質よりも資本力の差が生き残る道となっては本末転倒ではないか。
- 障がい者と地域を意識しすぎているのは我々福祉機関だけで、地域の住民の方はそれほど意識していないと思う。
- 就労系の事業所は「就労」するだけの場所だけではなく、日々の相談相手など業務は多岐にわたる。幸い石狩市は関係機関と良好なので、今後さらに強化しシームレスな支援体制を構築していけたらと思う。
- 行政と福祉事業所との間に福祉サービスに対する理解について温度差を感じる。行政担当者も福祉現場の見学や体験できるような場面があれば、もっと互い理解しあえるのではないか。
- 各障がい福祉サービスが一般の方にあまり理解されていないように感じる。福祉関係者を含め、住民に知ってもらう機会をつくるのが大切だと思う。
- 施設において、障がい者総合支援法に則り「地域交流促進の場」ということを念頭に取り組んでいきたい。
- 利用者の使い勝手を良くするため、総合的な窓口の一本化や、事業所間の連携強化など工夫をすべきと思う。
- 石狩市には施設の取り組みについて理解いただき助かっている。
- 石狩市は社会資源が限られており、福祉サービスだけを考えるとニーズに応えられない現状がある。一方で、札幌市のような大都市ではない分、顔が見える関係作りが築きやすい地域であるのはメリットと考える。行政や事業所、自治会組織との連携によって、ニーズや課題解決につながればと思う。
- 身寄りのない障がい者の支援について、市がどのような動き(支援)をしているのかが見えない。組織体制をはっきりさせることで、事業者や障がい者も安心できるのではないか。
- 医療的ケアが必要でも歩行できる児童については、同等に動くことができる児童がいる事業所や保育園等に通わせたほうが、本人の発達にも良い影響があると思う。そのような受入ができるよう整備をしてほしい。
- 家族や利用者より「外出や通所時など短期入所サービスが必要な時に受けることができな

い」、「グループホームや入所施設などの受入れがほとんどなく不安を感じる」などの意見が多く寄せられるが、人材不足などによりそのニーズに応えることができていないのが現状。人材確保、育成、定着に向け、ハローワークとの連携や外国人の人材育成と雇用なども考えてもらいたい。

○国は地域と障がい者との共生社会を勧めているが、障がいの特性にあったグループホームが少なく、結局在宅で過ごす(ひきこもらせてしまう)のが現状。市・道営住宅などをグループホーム仕様に変え福祉事業所に貸すことができれば、障がい者が地域社会に出る機会が増えるのではないかと思う。

○保護者の理解不足や障害の受容ができないなど様々な家庭の問題があった場合、その解決に向け、市をはじめ、その家庭が関わっている色々な関係機関との連携と情報共有が必要であると考えます。

○極め細やかな相談を行う場合、1人の対象者にかかる時間がどうしてもかかってしまう。相談数は年々増える一方で、このままだと、人員不足やサービスの低下につながる恐れがあり、人材育成、人材の確保等は、差し迫った課題と考える。

○移動支援事業を含む訪問系サービスの人材が不足していると思う。

○放課後デイサービスの事業者等の増加を望む。

○職員の確保については、求人に対する応募がほとんどない状況にある。

○介護職員初任者研修の受講費用は7~8万円と高額であり、この受講費の助成または免除する仕組みや、有資格者が復職する際の準備金の交付など、市によるバックアップを検討していただきたい。

○在宅利用者の緊急時の対応として、日中一時支援や短期入所の受け入れ先が増えることが必要と感じる。また、利用者さんと馴染みがある市民が登録制のボランティアとして福祉施設の活動室などのサービスをおこなう仕組みがあれば人的負担の軽減につながるのではないかと思う(施設はボランティア任せにしないことも必要)。

○緊急時の受け入れ対応として、特に短期入所の枠を広げる必要を感じる。新規受け入れ時は利用者が不安定な状態であることも考慮し、日頃から利用者が利用している事業所の協力(引継ぎ、同行)が部分的にあると受け入れ調整がしやすいのではないかと思う。

## (6) 障がい者施策全般について

---

●石狩市の障がい者施策全般に対する意見・要望をご記入ください。(自由筆記)

- 事業者や現場関係者へのアンケートは有効と思うが、利用者へのアンケートはお金を掛けるだけではないか。
- 自立支援協議会の存在意義について疑問がある。責任者が誰なのか、また何をやっているのかよくわからない。
- 障がい福祉課の窓口は周囲に丸見えでプライバシーが保たれておらず行きにくい。また相談室での面談もできるが、相談室を知らない人が多いと思う。
- 福祉関係者が集まれる機会や参加するメリットを感じられる機会があればと思う。
- 事業の補助金の額を上げてもらえると利用者ニーズにそった運営ができるのだが。
- 事業所利用者のほとんどが在宅の方。今後高齢化に伴い将来の受け皿に不安を感じる。また、人材不足で事業を広げていこうにもいけない状況である。
- アンケートと一緒に送ってもらった保健福祉ガイドブックはとても参考になった。
- 施設の運営について、市の支援や協力にとっても感謝している。
- 石狩市のニーズにそった独自の福祉施策を打ち出してもらいたい。施策としてはソフト面をどのように整えるのが課題と思う。
- 福祉タクシー利用券を福祉利用割引券へ交換可能にすると便利だと思う。
- 移動支援を通学送迎でも利用できるよう検討してほしい。また、コロナ渦で外出することが減り移動支援収入が減っているので増額を検討してもらいたい。
- 高齢障がい者が医療を受けながら生活ができる施設が必要だと思う。
- 利用者や地域住民、福祉施設、市の福祉行政など、みんなの顔が見える関係はとても良いことと感じる。こうしたアンケートを通じて、さらなる市の障がい施策が発展していくことを望む。